

注3

大学番号：私立119

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

武蔵野音楽大学 音楽学部 演奏学科  
武蔵野音楽大学 音楽学部 音楽総合学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 武蔵野音楽学園  
令和2年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 武蔵野音楽学園

## (2) 大学名

武蔵野音楽大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒176-8521  
東京都練馬区羽沢1丁目13番1号

〒358-8521  
埼玉県入間市中神728番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクイ ナオタカ) 福井 直敬 (平成10年2月)		
学長	(フクイ ナオタカ) 福井 直敬 (昭和56年10月)	(フクイ ナオアキ) 福井 直昭 (令和2年4月)	令和2年4月1日就任(2)
学科長		(タシロ シンノスケ) 田代 慎之介 (平成29年4月)	平成29年4月1日就任(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
音楽学部 演奏学科  学士(音楽)	音楽関係	4年	270人	— 年次人	1,080人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	270 ( - ) [ 0 ]	人 ( ) [ ]	270 ( - ) [ 0 ]	人 ( ) [ ]	270 ( - ) [ 0 ]	人 ( ) [ ]	270 ( - ) [ 0 ]	人 ( ) [ ]	0.82倍	一倍		
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	300 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	270 ( - ) [ 3 ]	— ( - ) [ - ]	277 ( - ) [ 10 ]	— ( - ) [ - ]	333 ( - ) [ 7 ]	— ( - ) [ - ]				
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	297 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	264 ( - ) [ 3 ]	— ( - ) [ - ]	273 ( - ) [ 10 ]	— ( - ) [ - ]	325 ( - ) [ 7 ]	— ( - ) [ - ]				
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	262 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	230 ( - ) [ 3 ]	— ( - ) [ - ]	232 ( - ) [ 8 ]	— ( - ) [ - ]	269 ( - ) [ 7 ]	— ( - ) [ - ]				
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	235 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	210 ( - ) [ 3 ]	— ( - ) [ - ]	206 ( - ) [ 7 ]	— ( - ) [ - ]	240 ( - ) [ 7 ]	— ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A			0.87			0.77			0.76			0.88		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	235 [ 0 ] ( 0 )	- [ - ] ( - )	211 [ 3 ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	206 [ 7 ] ( 0 )	- [ - ] ( - )	240 [ 7 ] ( 0 )	- [ - ] ( - )	3年次に編入学4人を含む		
2年次			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	227 [ 0 ] ( 0 )	- [ - ] ( - )	216 [ 3 ] ( 5 )	- [ - ] ( - )	216 [ 8 ] ( 2 )	- [ - ] ( - )			
3年次							- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	212 [ 1 ] ( 0 )	- [ - ] ( - )			209 [ 2 ] ( 5 )
4年次													- [ - ] ( - )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	235 [ 0 ] ( 0 )								438 [ 3 ] ( 1 )

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	235 人	0 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	438 人	7 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	7 人	0 人	経済上の理由(3人),進路変更(4人)
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	634 人	11 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	9 人	0 人	進路変更(7人),修学上の問題(1人),健康上の理由(1人)
			平成30年度	2 人	0 人	経済上の理由(1人),進路変更(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	877 人	2 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	1 人	0 人	修学上の問題(1人)
			平成30年度	1 人	0 人	修学上の問題(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		20 人		20 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{235} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{438} = \boxed{1.59} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{11}{634} = \boxed{1.73} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{877} = \boxed{0.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新校舎完成に伴う面積確定時の差異(29)		
	校舎敷地	371,328㎡ 371,329㎡	0㎡	0㎡	371,328㎡ 371,329㎡			
	運動場用地	26,250㎡	0㎡	0㎡	26,250㎡			
	小 計	397,578㎡ 397,579㎡	0㎡	0㎡	397,578㎡ 397,579㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	397,578㎡ 397,579㎡	0㎡	0㎡	397,578㎡ 397,579㎡			
(2) 校 舎	専 用	45,210㎡ 45,726㎡ 45,210㎡ (45,736㎡)	0㎡	0㎡	45,210㎡ 45,726㎡ 45,210㎡ (45,736㎡)	新校舎完成に伴う面積確定時の差異(29)		
	共 用	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	53 45室	演 習 室 4室	実験実習室 291 295室	情報処理学習施設 6室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	大学全体 用途調整(30)	
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体 用途調整(30)	
		音楽学部 演奏学科			193 490 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学料単位での特定不能なため、大学全体の数  図書、視聴覚資料充実及び除籍のため(2) 図書、視聴覚資料充実及び除籍のため(元) 図書、視聴覚資料充実のため(30)  開設時予定数値と5月1日現在の数値の差異(29)
	音楽学部 演奏学科	228,546〔118,060〕  (225,506〔116,783〕) <del>(223,734〔117,103〕)</del> <del>(227,442〔117,103〕)</del> (226,526〔116,669〕) <del>(224,546〔115,980〕)</del>	912〔300〕  (899〔285〕) <del>(912〔300〕)</del>	0〔0〕	75,993  (76,433) <del>(76,097)</del> <del>(75,985)</del> <del>(75,826)</del> <del>(75,593)</del>	0	0	
	計	228,546〔118,060〕  (225,506〔116,783〕) <del>(223,734〔117,103〕)</del> <del>(227,442〔117,103〕)</del> (226,526〔116,669〕) <del>(224,546〔115,980〕)</del>	912〔300〕  (899〔285〕) <del>(912〔300〕)</del>	0〔0〕	75,993  (76,433) <del>(76,097)</del> <del>(75,985)</del> <del>(75,826)</del> <del>(75,593)</del>	0	0	
	(6) 図 書 館	面 積	3,190㎡ 3,255㎡	閱 覧 座 席 数	150 217	収 納 可 能 冊 数	420,000	
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体 用途調整(元) 新校舎完成に伴う面積確定時の差異(29)	
		1,077㎡	テニスコート6面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	10,800千円	10,800千円	10,800千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	56,600千円	56,600千円	56,600千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	2,200千円	2,100千円	2,100千円	2,100千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		武蔵野音楽大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度		
音楽学部											
演奏学科	4	270	—	1080	学士(音楽)	0.82	0.88	—	平成29	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号 埼玉県入間市中神 728番地	平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止
音楽総合学科	4	40	—	160	学士(音楽)	0.89	1.10	—	平成29		
器楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和24		
声楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和24		
作曲学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和24		
音楽学学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和40		
音楽教育学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和40		
ヴィルトウオーソ学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	平成18		
音楽環境運営学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	平成19		
大学全体	4	310	—	1240	—	0.82	0.91	—	—	—	
大学の名称		武蔵野音楽大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍				
音楽研究科											
博士前期課程(修士課程)	2	65	—	130	—	0.86	0.86	—	—	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号	
器楽専攻	2	29	—	58	修士(音楽)	1.20	1.27	—	昭和39		
声楽専攻	2	20	—	40	修士(音楽)	0.80	0.80	—	昭和39		
作曲専攻	2	2	—	4	修士(音楽)	0.50	0.00	—	昭和39		
音楽学専攻	2	4	—	8	修士(音楽学)	0.12	0.00	—	昭和44		
音楽教育専攻	2	10	—	20	修士(音楽)	0.35	0.30	—	昭和44		
博士後期課程											
音楽専攻	3	10	—	30	博士(音楽) 博士(音楽学)	0.36	0.20	—	平成16	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。  
・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成29年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(演奏学科)	留意事項 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員7名のうち1名は平成28年度退職に伴い、若手専任教員を採用した。その他6名の内2名については平成29年度をもって退職予定、他の4名の内2名は、授業科目の担任上の必要により平成30年度の退職を予定とし、他の2名については担当科目の特殊性により退職時期を数年延長し逐次年齢構成の改善を図る。(29)	履行済 定年年齢を超える専任教員については、本人の業績、経歴等、音楽教育上の特性を踏まえた上で計画的に退職時期を定め、年齢構成の改善を図り適切な運用に努める予定である。完成年度までに退職者が出た場合は教育研究業績、経歴、社会的活動等に優れた就業規則に適合する比較的若い演奏家、研究者等から採用を行なう予定である。(29)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <音楽学部 演奏学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>「武蔵野音楽大学FD実施規程」（平成20年4月1日）を制定し、この規程に基づき（「武蔵野音楽大学FD実施規程」及び「武蔵野音楽大学SD実施規程」を添付）、全学的な組織として学長を委員長とし、教職員で構成する「FD委員会」を設置した。また、「武蔵野音楽大学SD実施規程」（平成29年4月1日）を新たに制定し、この規程に基づき、全学的な組織として学長を委員長とし、教職員で構成する「SD委員会」を設置した。（「武蔵野音楽大学FD実施規程」及び「武蔵野音楽大学SD実施規程」を添付）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD委員会及びSD委員会は、それぞれ毎年1～2回開催し、委員の欠席はほとんどなく出席状況は良好である。令和元年度は、5月16日及び6月18日にFD委員会を開催した。また、6月18日にSD委員会を開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>&lt;FD委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部において前年度に計画したFDの実施結果と分析（成果、問題点・対策、次年度反映事項等）について</li> <li>・各学部の当該年度のFD実施計画について</li> <li>・各学部における授業内容・方法の改善のため創意工夫した事例について</li> <li>・学生による授業評価アンケート（レッスン）について</li> <li>・シラバスの作成要領について</li> </ul> <p>&lt;SD委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に全学単位で実施したSDの実施結果と分析（成果、問題点・対策、次年度反映事項等）について</li> <li>・当該年度の全学単位で実施するSD計画（各種研修会等）について</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>&lt;FD&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の授業・レッスン参観</li> <li>・FD講座の開催</li> <li>・新設科目等の授業内容検討会</li> <li>・コーチング・スキル講習会</li> <li>・アクティブラーニング研究</li> <li>・教材研究</li> <li>・共通教材（外国語科目）の作成・改訂</li> <li>・学生による授業評価アンケート</li> <li>・客員教授（海外の著名な音楽家を招聘）が行うレッスンの聴講</li> </ul> <p>&lt;SD&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学全教員及び主任以上職員研修会</li> <li>・法人内の職員研修会（教員役職者を含む）</li> <li>・職階別研修会、部署別研修会（大学教員を含む）</li> </ul>
--

b 実施方法

<FD>

専門教育、共通基礎専門教育、共通教育の教員組織として、有鍵楽器部会、ピアノコラボレイティブアーツ部会、管楽器部会、打楽器部会、弦楽器部会、声楽部会、ウィルトゥオーソ部会、作曲部会、音楽学部会、音楽教育部会、アートマネジメント部会、ソルフェージュ部会、指揮部会、共通教育部会を置き、各部会はそれぞれの教育内容・授業形態等の特性に応じたFD活動に取り組んでいる。部会での討議のほか、次のような方法で実施している。

●授業・レッスン公開（教員相互の授業・レッスン参観）

レッスンの参観については、3名の教員が一組となり、それぞれが担任する学生のレッスンを相互に参観し、意見交換・研究会を行う。

●FD講座の実施

教員が持ち回りで講師となり、それぞれの専門に係るテーマについて、講話・実技により行う。

●指導法研究会の開催

向上心の低い学生や初心者への指導法の研究会や実地研修を行う。

<SD>

●大学全教員及び主任以上職員研修会、法人内の職員研修会

理事長・学長による法人・大学運営等の講話のほか、職階別研修会や部署別研修会の成果発表を行う。

●職階別研修会、部署別研修会

法人又は大学から示されるテーマについてレポートを提出し、職階別又は部署別に討議を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

・教員相互の授業・レッスン参観については、各組ともに年1回以上実施する。

・FD講座は、前期・後期各1回以上実施する。

・その他については、各部会ともにFDを目的とした部会を年2回以上開催し、討議・研究を実施している。

・各部会所属の教員（専任・非常勤）は、それぞれのFD活動に積極的に参加している。

<SD>

・大学全教員及び主任以上職員研修会は、年1回年度当初に専任教職員及び非常勤教員を対象として開催しており、教員の参加状況は良好である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・教員相互の授業・レッスン参観後には、意見交換を行うとともにレポートを作成し、全教員が閲覧できるようにしており、事後の授業・レッスンの改善・向上に役立っている。

・FD講座は、多様なテーマで実施され、参加した教員はその内容に刺激を受けて、今後の指導法の参考としている。

・学生による授業評価アンケートの集計結果を各授業（レッスン）担当教員に通知し、「評価に対する所見」及び「今後の授業（レッスン）に具体的に反映すべき事項」について提出させ、授業・レッスンの改善・向上につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

従来は隔年で実施していたが、平成30年度以降は、毎年度「専攻実技（レッスン）」と「クラス授業」に区分して交互に実施することとしている。平成30年度は「クラス授業」を、令和元年度は「専攻実技（レッスン）」を実施した。アンケートの集計結果を授業担当の各教員に通知し、「授業改善向上計画書」を作成させ、事後の授業の方法・内容等の改善・向上に反映させた。

令和2年度は、「クラス授業」について、前期に実施予定であったが、新型コロナウイルス対応のため延期することとしている。実施時期は検討中である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

令和元年度に実施した「専攻実技（レッスン）」の授業評価アンケートの集計結果は、本学公式ウェブサイトで公開中である。今後は、「学生による授業評価アンケート実施報告書」として取りまとめる。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 新キャンパスの完成と学科の再編・統合とこれに伴う新カリキュラムの編成により、平成29年度の設置以前と比較をすれば入学者は増加している。 しかしながら入学定員は満たしていないことから、引き続き一層の学生確保に向けた取り組みを組織的に行う。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 ・令和2年度中に公表を予定</p> <p>b 公表方法 ・大学公式ウェブサイト上に公開予定</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和3年度に日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を受審する。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]</p> <p>≪ aで「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input checked="" type="radio"/> 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ <input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 武蔵野音楽学園

## (2) 大学名

武蔵野音楽大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒176-8521  
東京都練馬区羽沢1丁目13番1号

〒358-8521  
埼玉県入間市中神728番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクイ ナオタカ) 福井 直敬 (平成10年2月)		
学長	(フクイ ナオタカ) 福井 直敬 (昭和56年10月)	(フクイ ナオアキ) 福井 直昭 (令和2年4月)	令和2年4月1日就任(2)
学科長		(ナカガワ トシヒロ) 中川 俊宏 (平成29年4月)	平成29年4月1日就任(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
音楽学部 音楽総合学科 学士(音楽)	音楽関係	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	—	40 (—) [0]	—	40 (—) [0]	—	40 (—) [0]	—	40 (—) [0]	—	0.89倍	一倍	
志願者数	— (—) [—]	—	43 (—) [2]	—	46 (—) [5]	—	41 (—) [7]	—	58 (—) [9]	—			
受験者数	— (—) [—]	—	42 (—) [2]	—	44 (—) [5]	—	36 (—) [4]	—	56 (—) [9]	—			
合格者数	— (—) [—]	—	42 (—) [2]	—	44 (—) [5]	—	34 (—) [4]	—	51 (—) [6]	—			
B 入学者数	— (—) [—]	—	33 (—) [1]	—	41 (—) [5]	—	26 (—) [4]	—	44 (—) [6]	—			
入学定員超過率 B/A	—		0.82		1.02		0.65		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	33 [ 1 ] ( 0 )	— [ — ] ( — )	43 [ 5 ] ( 2 )	— [ — ] ( — )	28 [ 5 ] ( 2 )	— [ — ] ( — )	44 [ 4 ] ( 0 )	— [ — ] ( — )	
2年次	/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	31 [ 1 ] ( 0 )	— [ — ] ( — )	42 [ 5 ] ( 4 )	— [ — ] ( — )	27 [ 4 ] ( 4 )	— [ — ] ( — )	
3年次			/		/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	28 [ 0 ] ( 0 )	— [ — ] ( — )	36 [ 3 ] ( 3 )
4年次	/						/		/		— [ — ] ( — )
計			— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	33 [ 1 ] ( 0 )	— [ — ] ( — )					74 [ 6 ] ( 2 )

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	33 人	0 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	74 人	0 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	98 人	2 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	2 人	0 人	経済上の理由(1人),修学上の問題(1人)
			平成元年度	0 人	0 人	
令和2年度	134 人	7 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	3 人	1 人	進路変更(1人),[家庭の事情(1人)],修学上の問題(1人)
			平成30年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			平成元年度	3 人	2 人	進路変更(1人),[健康上の理由(1人)],[除籍(1人)]
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		9 人		9 人	3 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{74} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{98} = \boxed{2.04} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{134} = \boxed{5.22} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新校舎完成に伴う面積確定時の差異(29)		
	校舎敷地	371,328㎡ 371,329㎡	0㎡	0㎡	371,328㎡ 371,329㎡			
	運動場用地	26,250㎡	0㎡	0㎡	26,250㎡			
	小 計	397,578㎡ 397,579㎡	0㎡	0㎡	397,578㎡ 397,579㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	397,578㎡ 397,579㎡	0㎡	0㎡	397,578㎡ 397,579㎡			
(2) 校 舎	専 用	45,210㎡ 45,726㎡ 45,210㎡ (45,736㎡)	0㎡	0㎡	45,210㎡ 45,726㎡ 45,210㎡ (45,736㎡)	新校舎完成に伴う面積確定時の差異(29)		
	共 用	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	53 45室	演 習 室 4室	実験実習室 291 295室	情報処理学習施設 6室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	大学全体 用途調整(30)	
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 音楽学部 音楽総合学科			室 数 193 199		大学全体 用途調整(30)	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学料単位での特定不能なため、大学全体の数  図書、視聴覚資料充実及び除籍のため(2) 図書、視聴覚資料充実及び除籍のため(元) 図書、視聴覚資料充実のため(30)  開設時予定数値と5月1日現在の数値の差異(29)
	音楽学部 音楽総合学科	228,546〔118,060〕 (225,506〔116,783〕) -(223,734〔117,103〕) -(227,442〔117,103〕) -(226,526〔116,669〕) -(224,546〔115,980〕)	912〔300〕  (899〔285〕) -(912〔300〕)	0〔0〕  (0〔0〕)	75,993 (76,433) -(76,097) -(75,985) -(75,826) -(75,593)	0  (0)	0  (0)	
	計	228,546〔118,060〕 (225,506〔116,783〕) -(223,734〔117,103〕) -(227,442〔117,103〕) -(226,526〔116,669〕) -(224,546〔115,980〕)	912〔300〕  (899〔285〕) -(912〔300〕)	0〔0〕  (0〔0〕)	75,993 (76,433) -(76,097) -(75,985) -(75,826) -(75,593)	0  (0)	0  (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体 用途調整(元) 新校舎完成に伴う面積確定時の差異(29)	
		3,190㎡ 3,255㎡	150 217	420,000				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
		1,077㎡	テニスコート6面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	3,200千円	3,200千円	3,200千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	8,400千円	8,400千円	8,400千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
2,170千円		2,070千円	2,070千円	2,070千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4. 既設大学等の状況

大学の名称		武蔵野音楽大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度		
音楽学部											
演奏学科	4	270	—	1080	学士(音楽)	0.82	0.88	—	平成29	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号 埼玉県入間市中神 728番地	平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止
音楽総合学科	4	40	—	160	学士(音楽)	0.89	1.10	—	平成29		
器楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和24		
声楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和24		
作曲学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和24		
音楽学学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和40		
音楽教育学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	昭和40		
ヴィルトウオーソ学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	平成18		
音楽環境運営学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	—	—	平成19		
大学全体	4	310	—	1240	—	0.82	0.91	—	—	—	
大学の名称		武蔵野音楽大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍				
音楽研究科											
博士前期課程(修士課程)	2	65	—	130	—	0.86	0.86	—	—	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号	
器楽専攻	2	29	—	58	修士(音楽)	1.20	1.27	—	昭和39		
声楽専攻	2	20	—	40	修士(音楽)	0.80	0.80	—	昭和39		
作曲専攻	2	2	—	4	修士(音楽)	0.50	0.00	—	昭和39		
音楽学専攻	2	4	—	8	修士(音楽学)	0.12	0.00	—	昭和44		
音楽教育専攻	2	10	—	20	修士(音楽)	0.35	0.30	—	昭和44		
博士後期課程											
音楽専攻	3	10	—	30	博士(音楽) 博士(音楽学)	0.36	0.20	—	平成16	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (29年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(音楽総合学科)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員2名は、授業科目の特殊性により、退職時期を数年延長し、逐次年齢構成の改善を図る。 (29)	定年年齢を超える専任教員については、本人の業績、経歴等、音楽教育上の特性を踏まえた上で計画的に退職時期を定め、年齢構成の改善を図り適切な運用に努める予定である。完成年度までに退職者が出た場合は教育研究業績、経歴、社会的活動等に優れた就業規則に適合する比較的若い演奏家、研究者等から採用を行なう予定である。(29)
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <音楽学部 音楽総合学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>「武蔵野音楽大学FD実施規程」（平成20年4月1日）を制定し、この規程に基づき（「武蔵野音楽大学FD実施規程」及び「武蔵野音楽大学SD実施規程」を添付）、全学的な組織として学長を委員長とし、教職員で構成する「FD委員会」を設置した。また、「武蔵野音楽大学SD実施規程」（平成29年4月1日）を新たに制定し、この規程に基づき、全学的な組織として学長を委員長とし、教職員で構成する「SD委員会」を設置した。（「武蔵野音楽大学FD実施規程」及び「武蔵野音楽大学SD実施規程」を添付）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD委員会及びSD委員会は、それぞれ毎年1～2回開催し、委員の欠席はほとんどなく出席状況は良好である。令和元年度は、5月16日及び6月18日にFD委員会を開催した。また、6月18日にSD委員会を開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>&lt;FD委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部において前年度に計画したFDの実施結果と分析（成果、問題点・対策、次年度反映事項等）について</li> <li>・各学部の当該年度のFD実施計画について</li> <li>・各学部における授業内容・方法の改善のため創意工夫した事例について</li> <li>・学生による授業評価アンケート（レッスン）について</li> <li>・シラバスの作成要領について</li> </ul> <p>&lt;SD委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に全学単位で実施したSDの実施結果と分析（成果、問題点・対策、次年度反映事項等）について</li> <li>・当該年度の全学単位で実施するSD計画（各種研修会等）について</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>&lt;FD&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の授業・レッスン参観</li> <li>・FD講座の開催</li> <li>・新設科目等の授業内容検討会</li> <li>・コーチング・スキル講習会</li> <li>・アクティブラーニング研究</li> <li>・教材研究</li> <li>・共通教材（外国語科目）の作成・改訂</li> <li>・学生による授業評価アンケート</li> <li>・客員教授（海外の著名な音楽家を招聘）が行うレッスンの聴講</li> </ul> <p>&lt;SD&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学全教員及び主任以上職員研修会</li> <li>・法人内の職員研修会（教員役職者を含む）</li> <li>・職階別研修会、部署別研修会（大学教員を含む）</li> </ul>
--

b 実施方法

<FD>

専門教育、共通基礎専門教育、共通教育の教員組織として、有鍵楽器部会、ピアノコラボレイティブアーツ部会、管楽器部会、打楽器部会、弦楽器部会、声楽部会、ウィルトゥオーゾ部会、作曲部会、音楽学部会、音楽教育部会、アートマネジメント部会、ソルフェージュ部会、指揮部会、共通教育部会を置き、各部会はそれぞれの教育内容・授業形態等の特性に応じたFD活動に取り組んでいる。部会での討議のほか、次のような方法で実施している。

●授業・レッスン公開（教員相互の授業・レッスン参観）

レッスンの参観については、3名の教員が一組となり、それぞれが担任する学生のレッスンを相互に参観し、意見交換・研究会を行う。

●FD講座の実施

教員が持ち回りで講師となり、それぞれの専門に係るテーマについて、講話・実技により行う。

●指導法研究会の開催

向上心の低い学生や初心者への指導法の研究会や実地研修を行う。

<SD>

●大学全教員及び主任以上職員研修会、法人内の職員研修会

理事長・学長による法人・大学運営等の講話のほか、職階別研修会や部署別研修会の成果発表を行う。

●職階別研修会、部署別研修会

法人又は大学から示されるテーマについてレポートを提出し、職階別又は部署別に討議を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

・教員相互の授業・レッスン参観については、各組ともに年1回以上実施する。

・FD講座は、前期・後期各1回以上実施する。

・その他については、各部会ともにFDを目的とした部会を年2回以上開催し、討議・研究を実施している。

・各部会所属の教員（専任・非常勤）は、それぞれのFD活動に積極的に参加している。

<SD>

・大学全教員及び主任以上職員研修会は、年1回年度当初に専任教職員及び非常勤教員を対象として開催しており、教員の参加状況は良好である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・教員相互の授業・レッスン参観後には、意見交換を行うとともにレポートを作成し、全教員が閲覧できるようにしており、事後の授業・レッスンの改善・向上に役立っている。

・FD講座は、多様なテーマで実施され、参加した教員はその内容に刺激を受けて、今後の指導法の参考としている。

・学生による授業評価アンケートの集計結果を各授業（レッスン）担当教員に通知し、「評価に対する所見」及び「今後の授業（レッスン）に具体的に反映すべき事項」について提出させ、授業・レッスンの改善・向上につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

従来は隔年で実施していたが、平成30年度以降は、毎年度「専攻実技（レッスン）」と「クラス授業」に区分して交互に実施することとしている。平成30年度は「クラス授業」を、令和元年度は「専攻実技（レッスン）」を実施した。アンケートの集計結果を授業担当の各教員に通知し、「授業改善向上計画書」を作成させ、事後の授業の方法・内容等の改善・向上に反映させた。

令和2年度は、「クラス授業」について、前期に実施予定であったが、新型コロナウイルス対応のため延期することとしている。実施時期は検討中である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

令和元年度に実施した「専攻実技（レッスン）」の授業評価アンケートの集計結果は、本学公式ウェブサイトで公開中である。今後は、「学生による授業評価アンケート実施報告書」として取りまとめる。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
新キャンパスの完成と学科の再編・統合とこれに伴う新カリキュラムの編成により、平成29年度の設置以前と比較をすれば入学者は増加している。  
今年度は入学定員を満たしており、引き続き一層の学生確保に向けた取り組みを組織的に行う。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期  
・令和2年度中に公表を予定
- b 公表方法  
・大学公式ウェブサイト上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画  
・令和3年度に日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和2年度）
- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]
- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 武蔵野音楽大学FD実施規程

(目的)

**第1条** この規程は、武蔵野音楽大学（以下「本学」という。）の教育理念および教育目標に基づき、教育研究に携わる教員の授業、研究指導の内容および方法の改善を図るため、本学が組織的に行う研修・研究（以下「FD」という。）の実施に関する事項を定めることを目的とする。

(FD実施の単位および実施内容等の範囲)

**第2条** FDの実施単位は、全学単位で実施するもの、および学部または研究科単位（学科、専攻等の単位で行う場合を含む。以下「学部等単位」という。）で実施するもの、ならびに本学学長（以下「学長」という。）の推薦により学校法人 武蔵野音楽学園（以下「法人」という。）人事委員会の議を経て法人理事長（以下「理事長」という。）の命により学外の研修に参加するものに区分する。

- 2 区分ごとの実施内容等の範囲は、次のとおりとする。
  - (1) 全学単位で実施するもの
    - イ 新任教員研修会（オリエンテーションを含む。）等
    - ロ 全教員を対象とする研修会、公開講座、講演会等
    - ハ 全教員を対象とする教育・研究業績一覧の作成および授業評価（学生による授業評価を含む。）の実施と公表ならびにその授業・研究指導への反映等
  - (2) 学部等単位で実施するもの
    - イ 学部等教員を対象とした研修会および講演会等
    - ロ 授業公開および教員相互授業参観等
    - ハ 各学科等授業研究会（教育カンファレンス）等
  - (3) 学外の研修に参加するもの
    - イ 武蔵野音楽学園在外研究員等規程に基づく研究員等の派遣
    - ロ 学外の教育関係機関等が計画する研修会等への参加
- 3 前項（第3号を除く。）の実施に当たり、学外から講師を招聘する場合については、別に定める。

(FD委員会)

**第3条** 前条に定めるFD（同条第2項第3号を除く。）の推進を図るために、本学に「FD委員会（以下「委員会」という。）」を置く。

- 2 委員会は、学長、副学長、総務部長、管理部長、経理部長、図書館長、楽器ミュージアム館長、学務部長、学生部長、演奏部長、学科長、部会長および理事長が委嘱する事務職員をもって組織する。
- 3 委員長は、学長とし委員会の招集は、委員長が行う。
- 4 委員会は、FD推進についての年度の計画、実施、評価、授業および研究指導への反映等に関し、その運営に当たるものとする。

(計画の承認および実施評価の報告)

**第4条** 委員会は、当該年度のFD計画および前年度の実施評価を、自己点検・評価委員会に報告するものとする

(事務)

**第5条** FDに関する事務は、総務部、学務部およびその他の部、図書館・楽器ミュージアムで分担し、事務局を総務部に置く。

2 第1項の各部の事務区分は、次のとおりとする。

(1) 総務部

イ 委員の委嘱、委員会の招集、議事録整理等

ロ 第2条第2項第1号および第3号に関する事項の計画、評価案等の作成

(2) 学務部

第2条第2項第2号に関する事項の計画、評価案等の作成

(3) その他の部、図書館・楽器ミュージアム

総務部および学務部の計画、評価案等の作成事務に対する資料の提供、その他の協力

(規程の変更)

**第6条** この規程を変更する場合は、理事長がこれを定める。

**附 則**

この規程は、平成20年4月1日から施行する。(発効)

**附 則**

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

(副学長および企画部長の新設ならびに部会の統合、新設に伴う一部改訂)

**附 則**

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

(学科の再編・統合および企画部廃止に伴う一部改訂)

**附 則**

この規程は、平成29年11月1日から施行する。

(学外講師招聘に関する規定化に伴う一部改訂)

**附 則**

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

(楽器博物館の名称変更に伴う一部改訂)

# 武蔵野音楽大学SD実施規程

(目的)

**第1条** この規程は、武蔵野音楽大学（以下「本学」という。）の職員（武蔵野音楽学園就業規則第3条に規定する職員、同第4条第2項に規定する嘱託職員・パートタイム職員および武蔵野音楽大学任期付教員任用規則に規定する教員をいう。以下同じ。）が、本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営（本学FD規程が対象とするFD関係を除く。）に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるために本学が組織的に行う研修（スタッフ・ディベロップメント。以下「SD」という。）の実施に関する事項を定めることを目的とする。

(SD実施の単位および実施内容等の範囲)

**第2条** SDの実施単位は、全学単位で実施するもの、本学各部・図書館・楽器ミュージアム等単位で実施するもの、および学外の研修会等に参加するものに区分する。

- 2 区分ごとの実施内容等の範囲は、次のとおりとする。
  - (1) 全学単位で実施するもの
    - イ 職員研修会
    - ロ 全教員・主任以上会議
    - ハ 新任者研修会
    - ニ 職階別職員研修等
    - ホ チーフ連絡会における研修情報の交換
  - (2) 本学各部・図書館・楽器ミュージアム等単位で実施するもの  
各部署単位の特有の管理運営に関する事項
  - (3) FD委員会と連携して実施するもの  
全教員の教育研究活動に係わる管理運営に関する事項
  - (4) 学外の教育・研修会等に参加するもの
    - イ 武蔵野音楽学園の部外機関への研修員派遣に関する内規に基づく研修員の派遣
    - ロ 学外の教育関係機関等が行う教育・研修会等への参加
- 2 前項（第4号を除く。）の実施に当たり、学外から講師を招聘する場合は、武蔵野音楽大学FD実施規程第2条第3項を準用する。

(SD委員会)

- 第3条** 前条に定めるSDの推進を図るために、本学に「SD委員会（以下「委員会」という。）」を置く。
- 2 委員会は、学長、副学長、総務部長、管理部長、経理部長、図書館長、楽器ミュージアム館長、学務部長、学生部長、演奏部長、学科長および理事長が委嘱する職員をもって組織する。
  - 3 委員長は、学長とし、委員会の招集は、委員長が行う。
  - 4 委員会は、SD推進についての年度の計画、実施、評価、大学事業への反映等に関し、その運営に当たるものとする。

(計画の承認および実施評価の報告)

**第4条** 委員会は、当該年度のSD計画および前年度の実施評価を、自己点検・評価委員会に報告するものとする。



(事務)

**第5条** SDに関する事務は、総務部、総務部以外の各部、図書館および楽器ミュージアムで分担し、事務局を総務部に置く。

2 前項の分担による各部署の事務区分は、次のとおりとする。

(1) 総務部

イ 委員の委嘱、委員会の招集、議事録整理等

ロ 第2条第2項第1号、第3号および第4号に関する事項の計画、評価案等の作成

ハ 第2条第2項第2号のうち、総務部特有の事項の計画案等の作成

(2) 総務部以外の各部、図書館、楽器博ミュージアム等

イ 総務部の計画、評価案等の作成事務に対する資料の提供その他の協力

ロ 第2条第2項第2号のうち、総務部以外の各部署特有の事項の計画、評価案等の作成

(規程の変更)

**第6条** この規程を変更する場合は、武蔵野音楽学園運営協議委員会の議を経て学校法人武蔵野音楽学園理事長がこれを定める。

#### 附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。(発効)

#### 附 則

この規程は、平成29年11月1日から施行する。

(学外講師招聘に関する規定化に伴う一部改訂)

#### 附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

(楽器博物館の名称変更に伴う一部改訂)